



多職種協働も  
うまくいく!

ケアマネジャー  
のための

## ファシリテーション 実践講座

医療法人社団悠悠会 介護老人保健施設ハーモニー園  
居宅介護支援事業課 管理者／主任介護支援専門員  
ホワイトボード・ミーティング®認定講師

船越綾子



特別養護老人ホーム、老人保健施設などで高齢者の介護業務に携わる。介護や相談面接の場面で高齢者に寄り添い、ご本人の持つ力を穏やかに引き出す自立支援を行っていた。現在は、現場の会議にホワイトボード・ミーティング®のホワイトボードケース会議の考え方や会議の進め方を活用し、高齢者も支援者もエンパワメントされる介護現場づくりを目指している。

# ケアマネジャーとファシリテーション

## ファシリテーションとは

### ●ファシリテーターの役割

近年、ファシリテーターやファシリテーションという言葉をよく聞くようになりました。研修講師の呼び名が、いつの間にか「講師」から「ファシリテーター」に変わっていたり、会議の「司会進行」も「ファシリテーター」になっていたりします。そういえば、研修のスタイルも、テキストを使うものよりグループで考えるワーク形式が増えています。会議では、ホワイトボードに板書し、付箋などで意見をまとめることも多くなってきました。

ファシリテーション (facilitation) の語源は、フランス語の「facile」という形容詞で、「容易な」「易しい」と訳されます。つまり、ファシリテーター (facilitator) は、「容易にする人」「円滑に進める人」「促進者」という意味になります。

人は「力」を持っています。ファシリテーターは、人が持つ「力」を自然に発揮できるように環境調整を行い、その時々々のゴールに向かって容易に活動できるように支援します。

話し合いにおいて議題 (= コンテンツ) は大切ですが、人は、どのように話し合ったのか (= プロセス) に重きを置いてしまうものです。ファシリテーターは、集団的知的相互作用 (集団の中の個人の暗黙知や経験知が互いに影響を及ぼすこ

と) に働きかけること (= 場づくり) で、環境調整 (= プロセスづくり) をしながら、集団と一緒にゴールを目指す伴走者のイメージです。

### ●ファシリテーターの種類

本連載では、ファシリテーションを活用する場面をいくつか紹介していきます。そこで、便宜上、ファシリテーターを3つに大別します。

#### ①ミーティングファシリテーター

会議や打ち合わせなど、人と人が話し合って物事を進めるファシリテーター。

#### ②ラーニングファシリテーター

研修会や交流会などで学びや交流を進めるファシリテーター。

#### ③変革のファシリテーター

組織変革や地域づくりを進めるファシリテーター。本連載では、組織開発の領域で使われるチェンジエージェントと同義とします。

## ケアマネジャーは、 既にファシリテーター

サービス担当者会議は、ケアマネジメントサイクルにおけるチーム運営に欠かせません。ケアマネジャーは、利用者・家族や多職種との話し合いでチームをマネジメントし、日程調整、議題、目標共有、合意形成、役割分担までのプロセスを管理します。ケアマネジャーは、利用者や家族を中